

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	2	自ら学び、自ら考えることのできる子どもを育むまちにします

施策	5	地域で子どもを育むまちにします	担当部(統括部)	次世代育成部
----	---	-----------------	----------	--------

【実現している姿】

目標	子どもたちと地域の大人との交流が盛んになっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもたちがいきいきと活躍しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもたちがいつでもどこでも安全に過ごすことができます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
わくわく広場 1回あたりの参加児童数	目標	—	—	—	60人	60人	65人	65人	65人	65人	70人
	実績	59.0人	59.1人	61.7人	63人	58人	53%	55%	57%	59%	60.0%
こども会への児童加入率	目標	—	—	—	52%	53%	55%	57%	59%	59%	60.0%
	実績	58.0%	56.2%	51.8%	52%	54.0%					
単位こども会数	目標	—	—	—	75団体	76団体	78団体	78団体	78団体	78団体	80団体
	実績	78団体	75団体	77団体	76団体	75団体					
不審者情報数	目標	—	—	—	25件	20件	15件	10件	5件	5件	0件
	実績	46件	33件	29件	25件	30件					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎学校、家庭、地域の連携による地域教育の充実	平成26年度事業費計 9,401千円
------------------------	-----------------------

学校を核として、家庭、地域の連携により、地域教育協議会(すこやかネット)や子どもの居場所づくりなど、地域社会を挙げて子どもを育む活動を充実します。また、地域での異年齢交流の機会や場づくりを進めます。

平成26年度事業	◇地域学校連携活動支援事業4,009千円・◇放課後子ども教室推進事業5,392千円(こども教育課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換	地域教育協議会間の交流や市全体での取組みの検証、評価
取組実績	クリーンウォークや広報誌発行など各校区で地域の実情の応じた活動の活性化のためのイベントの周知方法など協議を行った。					
成果	地域の各種団体と連携して学校教育や地域活動の活性化を協議し、イベント等を通じて子ども達に様々な体験活動の機会を提供した。					
次年度課題	地域教育協議会の活動の周知及び活動内容の充実を検討。					
計画	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所検討、評価
取組実績	市内10小学校体育館を活用し、地域の大人を指導者とした放課後子ども教室(わくわく広場)を水曜日を中心に274回実施した。また安全確保や保険適用などを議題にわくわく広場リーダー会議を4回開催した。					
成果	リーダー会議とともに指導者研修会を開催し、安全管理マニュアルや工作の実技指導を学習した。特色ある取組として鳥飼東小学校において避難訓練、カヌー教室を実施した。					
次年度課題	放課後等において、市内小学校体育館の施設を活用して、子ども達が安全で安心して活動できる居場所をつくり、健全育成に努める。また体育館以外の多目的ホールや視聴覚室などを活用したプログラムを検証する。					

◎人材育成の強化						平成26年度事業費計 6,804千円
地域教育を推進するコーディネーターなどの人材育成を強化します。また、青少年指導員連絡協議会、こども会育成連絡協議会、PTA協議会の活動を支援するとともに、新たな地域活動に取り組む団体などを育成・支援します。						
平成26年度事業	◇青少年団体育成事業840千円・◇こども会育成事業575千円・◇PTA協議会育成事業80千円・◇青少年指導員事業2,295千円・◇青少年リーダー養成事業3,014千円(こども教育課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度		後期終了年度 平成28年度
計画	地域コーディネーターの活動を支援	地域コーディネーターが地域教育協議会の推進・活性化を担うための研修を実施	地域コーディネーターが地域教育協議会の推進・活性化を担うための研修を実施	地域コーディネーターが地域教育協議会の推進・活性化を担うための研修を実施	地域コーディネーターが地域教育協議会の推進・活性化を担うための研修を実施	地域教育協議会の活動検証、評価
取組実績	各中学校区地域教育協議会の推進役として取り組んでいただくため、中学校区へコーディネーターの活動内容等情報を提供した。					
成果	コーディネーターと担当中学校区の連携、意思疎通が図られ、取り組み内容の充実につながった。					
次年度課題	地域コーディネーターへすこやかネットの先駆的な取り組みなどの情報提供をし、活動を支援していく必要がある。					
計画	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の支援内容等検証
取組実績	団体が行う自主的な活動を側面から支援するとともに、PTAにおいては、レクリエーション協会やスポーツ推進委員の協力を得てPTA親善スポーツ大会に事業補助を行った。					
成果	各団体の運営についてや活動について側面から支援することで団体の自主性が向上した。					
次年度課題	自主活動支援やスポーツ大会などイベントを通じて、家庭や地域、学校、関係団体との連携を強化する。					
計画	チャレンジャークラブ等で青少年リーダーを養成し、グループ化を支援。活動拠点として第1児童センターとの連携を検討	チャレンジャークラブ等で青少年リーダーを養成し、グループ化を支援。第1児童センターとの連携を検討	チャレンジャークラブ等で青少年リーダーを養成し、グループ化を支援。第1児童センターとの連携を検討	グループへの活動支援。グループの市主催事業(夏キャンプなど)への参画を促す。第1児童センターとの連携を検討	グループへの活動支援。グループの市主催事業(夏キャンプなど)への参画を促す。第1児童センターとの連携を検討	グループへの活動支援及び活動拠点検証
取組実績	夏のキャンプを国立若狭少年自然の家で開催し44人の参加、冬のキャンプを兵庫県立宛和野高原野外教育センターで開催し40人の参加があった。青少年リーダー養成の一環として、夏のキャンプの後に事後研修としてアウトドアクッキングとクラフト教室を企画した。					
成果	青少年リーダー養成の一環として、夏のキャンプの後に事後研修としてアウトドアクッキングとクラフト教室を開催し2回でのべ19人のキャンプ参加者がリーダー活動の補助を行った。					
次年度課題	キャンプで学んだ知識や技能を生かす場づくりを進めるとともに、青少年リーダー養成の目的のために、年間を通じたプログラムづくりを検討します。また活動拠点として第1児童センターとの連携を検討。					

○体験・学習機会の充実						平成26年度事業費計 6,644千円
地域の青少年団体や各種団体など様々な人たちの参画により、子ども、親子が多様な体験・学習ができる機会を提供します。また、子どもが活躍できる地域活動や団体活動を育成・支援します。						
平成26年度事業	◇青少年リーダー事業3,014千円・◇子どもフェスティバル開催事業2,100千円・◇青少年ゆめ・感動体験事業1,530千円(子ども教育課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会の内容検証
取組実績	夏のキャンプを国立若狭少年自然の家で開催し44人の参加、冬のキャンプを兵庫県立宍和野高原野外教育センターで開催し40人の参加があった。					
成果	青少年リーダー養成の一環として、夏のキャンプの後に事後研修としてアウトドアクッキングとクラフト教室を開催し2回でのべ19人のキャンプ参加者がリーダー活動の補助を行った。					
次年度課題	キャンプで学んだ知識や技能を生かす場づくりを進めるとともに、青少年リーダー養成の目的のために、年間を通じたプログラムづくりを検討する。					
計画	子どもフェスティバルの開催スペースを拡充し、新コーナーを実施	子どもフェスティバルの開催内容検討、各種団体へ参画呼びかけ	子どもフェスティバルの開催内容検討、各種団体へ参画呼びかけ	子どもフェスティバルの開催内容検討、各種団体へ参画呼びかけ	子どもフェスティバルの開催内容検討、各種団体へ参画呼びかけ	子どもフェスティバルの開催内容検証
取組実績	子どもフェスティバル実行委員会を4回開催し、参画団体が会場配置など内容を協議し実施した。					
成果	会場の大正川河川敷の右岸・左岸を利用できるように仮設の橋を設置し、安全面を確保した上で来場者が7000人から10000人に増加した。					
次年度課題	さらにスペースの有効利用と親子で楽しめるコーナーの拡充を検討します。また熱中症対策など更に安全なイベント運営を進める。					
計画	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	青少年ゆめ・感動体験事業の内容検証
取組実績	青少年指導員、子ども会、PTAが開催に向けて3団体情報交換会を5回開催し内容を協議した。数々のダンス世界大会で優勝しているKENZOさんを講師に迎え、どのような夢を持って現在に至ったかなど夢を持つことの大切さを実感できる内容だった。					
成果	青少年健全育成ポスター入賞者表彰式、子ども会活動PRと同日開催にすることで、会場である文化ホールに500人の入場者があり、青少年健全育成に成果があった。					
次年度課題	青少年関係3団体と連携し今後も魅力あるプログラムづくりに努める。					

◎子どもの安全対策の強化						平成26年度事業費計
						17,289千円
家庭での防犯意識を高めるとともに、市全体で子どもの生命・身体を守る取組みを強化します。また、各種団体が取り組んでいるパトロールなどの地域の見守り活動を支援します。						
平成26年度事業	◇地域子ども安全安心事業464千円(こども教育課)・☆小中学校通学区事業16,825千円(子育て支援課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	市民参画の取組みの検証、改善
取組実績	こども被害者となる犯罪が多発していることから、こどもが安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして、こども110番の家事業、青色防犯パトロール、こどもの安全見まもり隊事業を実施しました。こども110番の家にはプレート、110番の車にはステッカーを取り付けた。					
成果	地域で子どもを見守る抑止力となりました。こども110番の家1566世帯、車399台の協力があつた。					
次年度課題	こどもの安全安心のため、協力家庭、事業所の増加策を検討していく。					
計画	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	市民参画の取組みの検証、改善
取組実績	PTAを中心に各小学校区単位で取り組んだ。					
成果	地域で子どもを見守る抑止力となった。					
次年度課題	他のこどもの安全に取り組む活動との連携が必要である。					
計画	通学路の安全対策を進める	通学路の安全対策を進める	通学路の安全対策の指針策定や路側帯等のカラー舗装を検討	通学路の路側帯等をカラー舗装することを検討	通学路の路側帯等をカラー舗装することを検討	通学路の安全対策を進める
取組実績	交通専従員の配置や合同安全点検の実施。					
成果	登下校時における児童生徒の安全確保や危険箇所への対応。					
次年度課題	通学路の安全対策と地域における各種団体との取り組みの検討					

### 【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

子どもの安全の向上						平成26年度事業費計
						464千円
平成18年(2006年)4月に「子どもの安全安心都市」を宣言し、市全体で子どもの安全の向上に取り組んでいます。また、事業所にも「こども110番運動」に多数参加・協力いただいております。今後も参加を促進します。						
平成26年度事業	◇地域子ども安全安心事業464千円(こども教育課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進
取組実績	こども110番の家・子どもの安全見まもり隊をはじめ、多くの団体が子どもの安全対策に取り組んだ。					
成果	地域で子どもを見守る抑止力となった。					
次年度課題	各種団体の連携、情報交換を行う必要がある。					